

連載 (87)

いのち ひろば

毎月1回、中旬の水曜日に掲載

今月のひとこと
誰にでも訪れる可能性のある「介護」。産業ケアマネジャーは、介護が発生してもやりがいある仕事を続けるため、会社として貴重な人材を失わせないために関わります。まずはその存在や役割について知ってください。

働く世代の介護問題

〜介護離職予防と産業ケアマネジャー〜

一般社団法人小田原医師会 副会長
武井内科医院 院長
武井 和夫



厚生労働省の雇用動向調査によると2023年に離職した人は約798.1万人で、そのうち個人的理由で離職した約591.6万人の中で「介護・看護」が理由の人は約7.3万人で、2000年(平成12年)と比較して約2.5倍の増加となっている。介護離職は少子高齢化が進行する本邦において、深刻な問題となる可能性がある。

厚生労働省の雇用動向調査によると2023年に離職した人は約798.1万人で、そのうち個人的理由で離職した約591.6万人の中で「介護・看護」が理由の人は約7.3万人で、2000年(平成12年)と比較して約2.5倍の増加となっている。介護離職は少子高齢化が進行する本邦において、深刻な問題となる可能性がある。

たけい・かずお 1969年小田原市生まれ。県立小田原高校、埼玉医科大学卒業。埼玉医科大学神経内科学科長。埼玉医科大学附属病院、平塚市民病院、総合大田病院を経て平成13年より武井内科医院に勤務。平成14年5月より同院長。同年より小田原医師会理事、平成29年同副会長に就任。日本内科学会総合内科専門医、日本神経学会専門医、日本老年学会老年病指導医、平成30年度神奈川県世界アスツハイマナー普及啓発イベント実行委員会実行副委員長、認知症をいっしょにやろう会会長などを務める。

働く世代の介護問題に対し、私たちができることは？

〜産業ケアマネジャーの役割〜

一般社団法人ケアネットOHMY
理事 佐藤 美保

いっばんしゃだんほうじん・けあねっと・おーまい 小田原市城山2-3-1 城山コーポラス201号室 ☎ファクス 0465-3512577, Eメール info@ohmy.jp



さとう・みほ 松戸町出身。日本福祉大学卒業。主任介護支援専門員、社会福祉士、産業ケアマネジャー、ワークサポーターケアマネジャー。

「産業ケアマネジャーとは？」

この資格は民間の認定資格で、ケアマネジャーとしての知識や介護育児休業法等の制度活用に対するアドバイスを行うことで、企業全体や働く介護者への支援をする、いわゆる仕事と介護の両立支援のための専門職です。

「産業ケアマネジャーの社会貢献」

介護離職に関して「会社に柔軟な勤務形態の提供がない」「上司や同僚の理解不足」「会社の支援制度が不十分」という理由で離職した方が多くいます。このような事情が明らかになった企業に対しては、産業ケアマネジャーとして職場環境の見直しのために実態を調査・分析して助言する、という主な役割があります。雇用している従業員へ個別の相談対応も行います。

例え「介護休業」が93日を限度に申請利用が可能で、厚労省は「ケアマネジャー」と相談し、介護の体制を整えるために使うことと一例を示しています。産業ケアマネジャーは、休業の取得時期や連絡・相談先、相談内容やケアマネジャーの依頼方法、行政での手続き内容や確認事項など具体的な事前の情報提供及び方法の提案により円滑な体制整備を援助します。

今年(2025年)は団塊の世代全員が後期高齢者となる75歳を迎え、全人口の高齢化率が一気に上がる時期として様々な予測がなされました。団塊の世代の方が働き盛りであった1970年代当時の高齢化率は7%程度に対して現在は35%で、少子高齢化が一気に進み働く世代(15〜65歳)は減少の一途です。ただ働き働く世代が減少している中で、家族等の介護が発生すると心身の負担を懸念し「一時期だけだから」と離職を考慮、自己犠牲のもと介護に多くの時間を割くという方と関わることがあります。介護は終わりが見えないもので、介護に専念すると社会との接点が切断され孤立状況となりがちです。誰にも相談できず悩みを抱え込んでしまい、さらには離職により安定した収入が途絶え経済的に不安定となり、介護者の身体・精神・経済的苦痛が継続し積み重なると虐待等につながる可能性が高くなるのです。

安定した日本経済の維持や個人の明るい未来を考えると、様々な支援を活用して仕事を続けることができれば、安定した収入を維持し、会社・友人等に相談することで社会との接点も保たれます。そのために介護離職の予防は非常に重要です。

今回の新しい資格である領域におけるケアマネジャーの団体である一般社団法人ケアネットOHMYで役員として活躍し、産業ケアマネジャーの資格を有する佐藤美保さんに働く世代の介護問題について教えてもらいます。

まずは地域にこのような活動をしている者がいる、ということを知ることが多くの方に知って頂きたいです。そしてお役に立てる機会が増えれば一人でも多くの方の介護離職を防ぐことにつながると自負しています。気になる方はいつでもご連絡ください！

次回は7月中旬に「感染症予防について」を掲載します。

小田原医師会より住民の方々へ

小田原市休日夜間急患診療所の体制について

小田原市休日夜間急患診療所
休日や夜間に急に発症した方の診療を目的とした一次救急の医療機関です。軽症の患者様を対象としていますので、症状によっては、重症患者様を受け持つ「二次救急病院」へ受診していただくことになります。応急処置を目的としていますので、受診後はかかりつけ医を受診するなど適切な医療を受けてください。
〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂2-32-16
☎0465-47-0823 駐車場(第1~4)あり
<https://www.odawara.kanagawa.med.or.jp/nighttime/>

診療科と受付時間	※ 12月29日~1月3日の6日間は休日の診療をします。		
	平日(夜間) 午後7時~同10時	日曜・祝日(昼間) 午前8時半~同11時半 午後1時~同3時半	土曜・日曜・祝日(夜間) 午後6時~同10時
内科	○	○	○
小児科	○	○	○
耳鼻咽喉科		○	
眼科		当番日のみ	
歯科		日曜・祝日(昼間) 午前9時~同11時半 午後1時~同3時半	

6月							7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5
	13:00~14:00 内科 循環器科	13:00~14:00 整形外科		13:30~14:30 内科	13:00~14:00 小児科				13:00~14:00 内科		13:30~14:30 内科	13:00~14:00 小児科	
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
			13:30~14:30 内科		13:15~14:15 内科	14:30~15:30 産婦人科		13:00~14:00 内科 循環器科	13:00~14:00 整形外科	13:30~14:30 内科		13:15~14:15 皮膚科	
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
		13:00~14:00 内科	14:30~15:30 小児科		13:30~14:30 耳鼻科	13:30~14:30 内科 神経内科			13:00~14:00 内科	13:30~14:30 耳鼻科		13:15~14:15 内科	13:30~14:30 内科 神経内科
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
	13:30~14:30 内科	13:30~14:30 内科			13:15~14:15 皮膚科								14:30~15:30 産婦人科
29	30						27	28	29	30	31		
							13:30~14:30 内科	13:30~14:30 内科					

小田原医師会地域医療連携室では、医師による電話相談を行っています。無料です。事前にお電話ください。

〈上記の問合せ先〉
小田原医師会地域医療連携室
☎0465-47-0833

医療機関検索は
小田原医師会のサイト
から利用できます



月曜~土曜(日曜、祝・休日、12/29~1/3休み)
午前9時~正午/午後1時~午後5時
<https://www.odawara.kanagawa.med.or.jp/>